

彩雲

S
A
I
U
N



【写真】「患者作品」
患者様のリハビリの一環として、また療養の糧及び地域に根ざした活動として、当院で製作した作品です。

【彩雲(さいうん)】とは、縁などが美しく色づいた雲を言います。日光が雲の水滴で回折するために生じるもので、昔からよいことの起こる吉兆の雲とされています。

VOL. **15** 【平成28年9月】

矢吹病院の基本理念・基本方針

基本理念

仁愛・誠意・献身

～思いやりと真心で患者さんに尽くします～

七つの基本方針

精神保健福祉法を遵守し、私たちは

1. 患者さんの人権に配慮し、癒しと回復の場を提供します。
2. 情報の共有と相互の理解のもと、効果的で適切な医療を提供します。
3. 患者さんの社会復帰の促進を図り、家庭や地域での生活を支援します。
4. 公的責務を自覚し、救急や治療困難な患者さんの受け入れに努めます。
5. 積極的に関連機関と連携し、広く地域精神保健活動に取り組みます。
6. 透明かつ適正な運営により、県民の理解と信頼を得られるよう努めます。
7. 明るく働きがいのある職場をつくり、真の「こころの治療」を追求します。

「いのち」はどこに存在するのか？



病院長 横山 昇

8月下旬、長野県松本市で開催された「全国自治体病院協議会精神科特別部会総会」に参加してきました。簡単に言えば全国の公的精神科病院の学会で、今年は職員4名にも同行してもらいました。信州はもう涼しいだろうと決めつけて秋の装いで出向いたのですが、案に相違して現地では連日真夏日となり、最終日には35℃を超える猛暑に見舞われてしまい、閉会時には帰福する気力も体力もほとんど残っていないような有様でした。

学会初日に、哲学者である内山節氏の特別講演「いのちの場所」を聴取しました。午後1時半からという時間帯と内容の難解さから睡魔と闘い続けた1時間でしたが、示唆に富む非常に魅力的なお話しでしたので、以下そのエッセンスを紹介したいと思います。……「いのち」は『自分の中にある自分の所有物』と考えがちだが、これは近代ヨーロッパの発想である。ヨーロッパでも近代以前の人々は「いのち」は唯一神との関係の中にあると考えていた。これに対し古来から日本では「いのち」は『様々な関係の中に存在』すると考えてきた。つまり、一神論ではない日本人は『自然との関係、他者との関係、歴史や文化との関係、神仏などとの関係の中に「いのち」は存在する場所を持っている』と考えてきたのである。「いのち」は自分の所有物ではなく、自然などを含む様々な他者と結ばれていたからこそ存在する場所を持つ。それが伝統的な日本人の発想だった。…(中略)…根本的、本質的な存在は「結びあう世界(現代日本人はこれに気付かない)」の中にあり、それぞれの個体はそれから生まれた現象に過ぎない……。

消化不良のままの紹介となってしまいましたが、要するに近代欧米の発想に基づく「個人しかない社会」の限界が種々の形で表面化してきている現在、私たちは伝統的な日本人の発想から学び直す必要性に迫られているということなのだと思います。今回の講演は内山氏自身の著書『「いのち」の場所』(岩波書店)をもとに構成されたようですので、興味のある方はご一読なさってはいかがでしょうか。

福島県立矢吹病院

平成28年 熊本地震における福島県DPAT先遣隊活動

この度の熊本地震において、国よりDPAT先遣隊の派遣要請があり、それに基づき本県のDPAT先遣隊として矢吹病院が熊本に派遣され被災者や被災者を支援されている方々に治療、精神的ケアを行ってきました。

- *派遣期間 4月22日～27日
- *活動地 熊本県阿蘇地域
- *メンバー構成 医師：金澤壮一 看護師：高橋 力、小笠原定雄
臨床心理士：吉田英記 業務調整員：菅野 孝（障がい福祉課）

DPATとは？

(Disaster Psychiatric Assistance Team)

災害派遣精神医療チーム

自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの大規模災害等の後、被災地に入り、精神科医療および精神科保健活動の支援を行う専門的なチーム。

DPATの構造

発災後72時間以内に
活動開始

病院単位で組織



先遣隊

必要に応じて、
数週間から数ヶ月活動

都道府県等で組織



班

班

班

先遣隊及び各班は精神科医 看護師 業務調整員を含めた数名で構成



阿蘇市保健センター(拠点)



産山役場での活動風景

今回のDPAT派遣活動に際しては、各部署のご協力ありがとうございました。災害は発災しないことに越したことはありません。しかし東日本震災、今回の熊本震災などを経験し改めて医療分野に身を置く（携わる）者として、発災時の対応、各支援の取り組みを心構えとして持っていることが必要と感じています。

今年も矢吹病院祭りを開催します

今年の病院祭りは、**10月30日(日)**に予定しております。早いもので4回目を迎え、昨年同様たくさんの方々にお越しいただけるよう、職員一丸となって楽しい企画を準備させていただきます。



花いっぱい運動活動中

矢吹町内各地で展開されている花いっぱい運動に賛同し、矢吹病院でも病院廻りの県道・町道沿いに花の苗を植える活動を実施中です。





児童・思春期外来について(第1回)

out patient department of
child and adolescent

現在、当院の児童思春期外来は、新規申込みで数か月待ちという状況になってしまっており、たいへん心苦しく感じております。今回は、児童思春期外来の予約から診察までの流れについてご紹介させていただきます。

診察を希望される場合には、まずお電話にてご予約を頂きます。その後1カ月以内に心理士との面接を実施しております。面接では困った状況を詳しくお聞きし、緊急性を把握するとともに、初診までにご家庭でできることがあれば、対応方法などをお伝えしております。お子さん本人だけではなく、ご家族もつらい状況であることが多いため、丁寧にお話をうかがうことで、一息ついていただくことも目的としております。

初診時には、専門の児童精神科医(主治医)がお子さんの状況を詳しくお聞きし、医学的な判断と共に、心理検査がオーダーされます。心理検査はお子さんの状態を客観的に把握するためのもので、数種類必要になるため、検査の為に数日通っていただくこととなります。検査の実施は、男女の心理士がお子さんの状態や特性に合わせて、環境や方法を工夫して行います。すべての検査が終了した時点で再診の予約をして頂きます。

再診時には、主治医よりお子さんの見立てと治療方針をお伝えすることになります。心理検査の結果については、別日に心理士と予約を取っていただき、面接とA4用紙数枚の報告書により丁寧にお伝えすることを心掛けております。お子さんとご家族に現状と支援方法を理解していただいた後に、主治医の治療方針に従って、通院による治療などが始まることとなります。

今回は、児童・思春期外来で行っている様々な治療プログラムについてご紹介します。



栄養管理だより

from
Nutrition Support Service

おいしい病院食レシピ ～かぼちゃサラダ～

かぼちゃ料理というと煮物が定番ですが、洋風にしてもおいしく食べられます。今回は彩よく、簡単に調理できるかぼちゃサラダをご紹介します。かぼちゃはβカロテンが多く含まれています。このβカロテンは免疫力を高める働きがあります。

【材料 2人分】

- ・かぼちゃ 160g
- ・たまねぎ 1/2個
- ・マヨネーズ 大さじ2
- ・プレーンヨーグルト 大さじ2
- ・塩こしょう 少々

【作り方】

- ①かぼちゃは種とわたを取り除く
- ②かぼちゃを水で濡らしてからラップに包み、電子レンジで加熱(600Wで5分程度)する
- ③かぼちゃが柔らかくなったらフォークなどで荒くつぶす
- ④たまねぎはみじん切りにし、水に

さらす

- ⑤たまねぎの水気をよく切ったらつぶしたかぼちゃ、マヨネーズ、プレーンヨーグルトを混ぜて塩こしょうで味を調える

【ポイント】

味付けにプレーンヨーグルトを使うことで、マヨネーズだけで味付けするよりもさっぱりとした仕上がりになります。また、マヨネーズを使う量を減らすことができるので、カロリーも抑えられます。

かぼちゃを加熱するときは、ゆでるより電子レンジを使用したほう



が水っぽくならないため、サラダにする場合は電子レンジでの加熱が向いています。しっかりと加熱することにより皮もフォークでつぶせるほど柔らかくなります。

【一人分の栄養価】

エネルギー	126Kcal
タンパク質	2.3g
脂質	4.8g
塩分	0.5g

科別	氏名	職名	専門分野
精神科	横山 昇	病院長	精神科一般
	佐藤 浩司	副院長	精神科一般
	金澤 壮一	科部長	精神科一般、児童思春期、発達障害(成人を含む)
	石川 大道	科長	精神科一般、児童思春期、発達障害(成人を含む)
	小野口 豪	医長	精神科一般
内科	宗像 修	副院長	消化器内科

外来診療のご案内

●外来診療日

診療科	受付時間	診療時間	月	火	水	木	金	土	
精神科一般 内 科	午前	8:30~ 11:00	9:00~ 11:30	○	○	○	○	○	-
	午後	13:00~ 15:00	13:00~ 15:30	○	○	○	○	○	-
児童思春期 外 来	午前	全て予約制	9:00~ 11:30	○ 新患のみ	○ 新患のみ	医大 (月1回)	-	医大 (月1回)	応援医 (第3土曜)
	午後		13:00~ 16:30	-	○ 再診のみ	-	○ 再診のみ	-	応援医 (第3土曜)

※祝祭日及び年末年始を除きます。

※○印は当院常勤医師です。

※休診や診療日変更の場合がありますので、予約の際にご確認をお願いします。

●予約診療について

☆ 精神科一般 新患 ~予約の受付を行っています。

※新患の診察は、月曜日から金曜日まで行っています。

☆ 精神科一般 再診 ~予約の受付を行っています。

☆ 児童思春期外来 ~全て予約が必要です。

☆ 内 科 ~予約なしで受診できます。

〔新患予約窓口〕 地域医療連携室 (児童思春期外来含む)

電話：0248-44-2051 (直通) 9:00~16:30 (月曜日から金曜日)

〔再診予約窓口〕 事務部医事窓口

電話：0248-42-3111 (代表) 8:30~12:00 13:00~17:00 (月曜日から金曜日)

※担当医の診察日については、当院のホームページをご覧ください。

代診・休診についても、ホームページでお知らせしております。

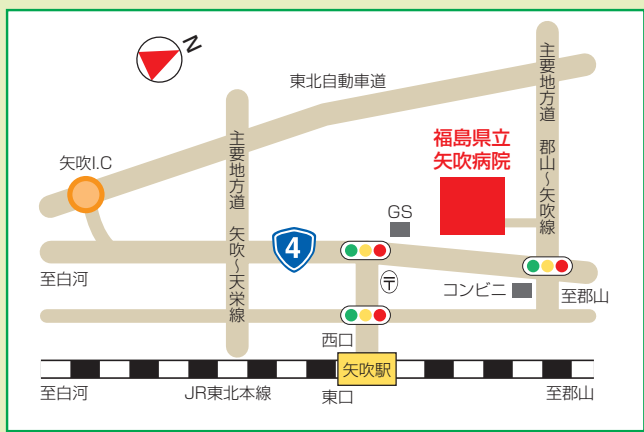


交通のご案内

●JR矢吹駅より徒歩20分。JR矢吹駅(西口)と当院を結ぶ送迎バスも運行しております。

<送迎バス時刻表>

※病院正面玄関前からご乗車できます。



迎え	JR矢吹駅 → 矢吹病院
1便	8:10発
2便	8:45発
3便	9:45発

送り	矢吹病院 → JR矢吹駅
1便	9:25発
2便	10:50発
3便	11:20発
4便	14:30発
5便	15:25発

発行 ● 福島県立矢吹病院

〒969-0284 福島県西白河郡矢吹町滝八幡100 TEL0248-42-3111 FAX0248-44-2551

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/25140a>